

## 次号予告

### 特集 ORからサービス・サイエンスへ

Naval Architectureからサービスサイエンスへ

—アーキテクチャル・イノベーションを目指して— ……宮田秀明, 武市祥司 (東京大学) 大学におけるサービス・サイエンスの研究と教育

—最適化から仕組みの構築へ— ……高木英明 (筑波大学) サービス・イノベーション・モデル ……亀岡秋男 (北陸先端科学技術大学院大学) オンデマンド・バス

—公共サービスに於けるイノベーション— ……大和裕幸, 稗方和夫, 坪内孝太 (東京大学) サービス・プロジェクトの成功条件を探る

—要求仕様書記述状況の分析— ……板倉真由美 (日本アイ・ビー・エム)

### 編集後記

●「知的財産権」や「特許」「著作権」という言葉は、「普通」の研究者には無縁のものだと思っていました。しかし、ある日、こんな自分にも知的財産権に関わる事件が降りかかってきました。正直、私の行ってきたナース・スケジューリング研究の危機だと思いました。私のやってきたことが私のものでなくなる危機です。それから、知的財産権に詳しい先生方や弁護士先生の助言と支援を受けながら、これらの言葉の意味や自分との関わりを現実的に考えるようになりました。

●一般的な研究者は、なにかを発見をしたとき、なにか面白いアイデアを抱えているときに、それを多くの人と議論したいとか、伝えたい気持ちに駆られるのではないのでしょうか。学会発表や論文発表はそのためのよい手段ですが、それ以外でも、ちょっとした議論のきっかけさえあれば、どんな相手にでも（これは後から間違いだと気づきましたが）出し惜しみなく、どち

らかというと楽しんで伝えてしまう場合が多いのではないのでしょうか。

●研究者にとって、知的財産権は何をしてくれるものなのでしょうか。こんな「疑問」もしくは「期待」を抱えている読者にとって、今月号の「知的財産権」特集はいかがだったのでしょうか。とても興味深い特集になったと思います。私、一読者としては、高橋伸夫先生の「金額や権利だけに目を奪われるとき、技術者にとって、会社にとって、大切なものが失われる」ことは、研究者にも関わる心配事と感じました。

●6月、ナース・スケジューリングの研究を深めようと思ったわけではないですが、病院に（患者として）滞在してきました。短い期間でしたが、高い「医療・看護の質」にお世話になり、医療・看護・介護の世界でORを有効に役立たせたいと、あらためて思いました。  
(池上敦子)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大村弘之(日本電信電話株), 岡田 勇(創価大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム株), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス株), 高橋彰子(株NTTデータ), 田村一軌(財団法人総合技術研究所), 田村亮二(キャノンシステムソリューションズ株), 土屋利明(日本電信電話株), 所 健一(財団法人電力中央研究所), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(順天堂大学), 藤本 衡(東京電機大学), 増田浩通(東京理科大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(株東芝), 山下英明(首都大学東京)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成 18 年 8 月号 第 51 卷 第 8 号 通巻 548 号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ